1. 会議議題

〇第３期沖縄県スポーツ推進計画策定に対する審議

2. 開催日時・場所

(1)日時： 2026 年（令和 8 年）10 月 1 日（木）10 時 00 分～12 時 00 分

(2)場所： 沖縄県庁 6 階第 2 特別会議室

3. 出席者

(1)委員： 宮城会長、宮里委員、青田委員、名幸委員、平良委員、岩井委員、大城敦委員、濱本委員、池宮城委員、親川委員、宇地原委員、川田委員

(2)事務局： 文化観光スポーツ部　高宮城統括監

スポーツ振興課　黒田課長、有馬室長、知花班長、東恩納班長

4. 議事概要

（委員からの主な質疑・意見）

(1)部活動の地域連携・地域展開について

〇競技団体や市町村によって取組状況に差があり、地域展開後の全体像や受け皿のあり方が十分に見えていない。また、地域展開の進展により、スポーツに関わらない子どもが増加する懸念や、競技人口の拡大と競技力向上をどのように両立させるのか。

〇これまで学校教員が担ってきた教育的役割を、地域指導者がどのように継承していくのかが課題である。勝利至上主義への偏りや、指導者の資質・ガバナンスの確保、指導者研修の充実についても重要な視点である。

〇部活動の地域展開と競技力向上は目的や役割が異なる。部活動の地域展開は子どもたちのスポーツ参加機会の確保や教育的意義の継承を目的とし、競技力向上はトップアスリートの育成を目的とするものであることから、それぞれを整理して計画に位置付けるべき。

(2)マルチスポーツとスポーツ参画人口の拡大について

〇幼少期にさまざまな競技を経験することがスポーツ参加の裾野拡大や競技力向上につながるとの意見が示された。また、特定競技への早期特化だけでなく、多様なスポーツ体験を通じて子ども自身が将来的な競技選択を行える環境づくりが重要である。

(3)スポーツ・インテグリティ及びガバナンスについて

〇スポーツ・ハラスメント防止や安全・安心な競技環境の確保という観点から、競技力向上施策の中で位置付けた方がメッセージ性が高まるのではないか。

〇スポーツ・インテグリティは競技スポーツだけでなく、スポーツ活動全般に関わる重要なテーマであることから、現在の位置付けにも一定の合理性がある。

(4)障がい者スポーツの推進について

〇障がい者アスリートの強化を掲げる一方で、競技を行う施設や環境が不足している。特に、施設改修の際にはバリアフリー化だけでなく、実際に障がい者スポーツが行える環境整備を視野に入れるべき。

〇障がい者スポーツは現在福祉部局が中心となって所管しているため、社会参加支援の側面が強く、競技力向上を支える予算や制度が十分ではないのではないか。

(5)スポーツによる地域課題解決と地域連携について

〇キャンプ・合宿受入れや交流事業が一過性に終わりやすく、継続的な地域課題解決へつながりにくいのではないか。

〇市町村の地域課題とスポーツ団体が取り組みたい内容との間にギャップがあり、相互理解やマッチングの不足が課題ではないか。県が市町村やスポーツ団体の取組を把握し、双方をつなぐプラットフォームやマッチング機能を担うことが必要ではないか。

(6)女性のスポーツ参加促進について

〇子育て世代の女性は自身の運動よりも子どもを優先する傾向があり、女性だけを対象としたスポーツ事業では限界があるのではないか。そのため、子育て支援や健康増進施策と連携しながら、子育て世代の女性が参加しやすい仕組みを構築する必要があるのではないか。

(7)アスリートのキャリア支援について

〇競技引退後のセカンドキャリアだけでなく、競技と仕事を両立するデュアルキャリアの考え方が重要ではないか。

〇トップアスリートのみならず、将来的にアスリートを目指す若年層も含めて、安心して競技活動を継続できる雇用やキャリア形成支援が必要ではないか。

(8)スポーツ施設整備とまちづくりについて

〇奥武山公園Ｊ１規格スタジアムだけでなく、市町村における施設改修後の利活用やまちづくりへの活用を見据えた支援が必要ではないか。

(9)マリンスポーツの位置付けについて

○マリンスポーツは観光資源としてだけでなく、子どものスポーツ機会や地域振興の観点からも重要であり、計画に明確な位置付けをした方がよいのではないか。

(10)「つなぐ」機能と情報共有の仕組み

○学校、競技団体、総合型地域スポーツクラブ、市町村、県庁内各部局などが保有する情報や取組が分散しており、十分に共有されていないことから、情報を集約し、関係者同士をつなぐプラットフォームやコーディネート機能を県が担うべきではないか。

（事務局回答）

○本日は委員の皆様から多岐にわたる貴重な御意見をいただきました。いただいた御意見を踏まえ、庁内関係課や民間事業者・関係団体等と連携しながら、第３期沖縄県スポーツ推進計画の第２次素案の作成に向けて、内容の充実を図りながら検討を進めてまいります。

5. 会議の公開・非公開の別

○非公開

6. 非公開とした理由

○委員による自由かつ率直な意見表明の機会を確保するため